

令和7年度

一般選抜A日程(2/3)

国語

出題意図

I	<p>山崎吾郎『文化人類学の思考法』(世界思想社)の「技術と環境」からの出題である。</p> <p>本問は漢字知識、読解力、文脈を適切に読み取る力、などの言語能力を問うことを意図している。</p> <p>特に、問六～問八は本文にあらわれた論理的思考の軌跡を追うことができるかどうかを判定するための出題である。また、問九は文脈に合致する適切な語句を選択できるかどうかを問うものである。</p> <p>さらに、評論文のレトリック理解能力を問う問題として、問一〇を出題した。</p>
II	<p>砥上裕将『線は、僕を描く』(講談社)の一場面からの出題である。</p> <p>本問は、語彙の知識、正確な読解力、および文学的表現の効果を読み取る能力を問うことを意図している。</p> <p>問一、問三、問八は、文学的表現から作中人物とそれを取りまく物事の様子を読み取る力を問う問題である。</p> <p>問二、問四は語句の意味、四字熟語の知識を問うものである。</p> <p>また、問五、問七は辞書的な意味にとどまらない文脈に即した語句の意味を正しく選択できるかどうかを問うための出題である。</p>
III	<p>信原幸弘『心の哲学 新時代の心の科学をめぐる哲学の問い』(新曜社)からの出題である。</p> <p>本問は、漢字知識・文法知識・抽象的なテーマの文章を論理的に読み解く力を問うことを意図している。</p> <p>問一、問三はキーワードを正しく理解できているかどうかを問い、問六、問八は筆者の意図を正しく汲み取ることができるかを問う問題である。</p> <p>問二、問四は、漢字知識と適切な接続詞を問う問題である。</p> <p>なお、本文のロジックのストラテジーへの理解力を問う目的で、問九を出題した。</p>